

大学の様々な取り組み

本学Webサイトに掲載された記事を中心に紹介します。
 <2025年11月～2026年5月>
 社名、役職名、学生の学年などは、記事掲載時の情報です。

第4回「法遵守の文化のためのグローバルユースフォーラム」を茗荷谷キャンパスで初開催 高円宮承子女王殿下がご臨席

2026年3月5日から7日にかけて、国際連合薬物・犯罪事務所および法務省主催の第4回「法遵守の文化のためのグローバルユースフォーラム」を茗荷谷キャンパスで開催しました。本フォーラムは大学キャンパスでの開催が初となり、本学は協賛として企画運営に参画しました。43の国・地域から84名の若者が参加し、本学学生もフォーラム参加者や運営ボランティアとして関与しました。開会式では理事長の挨拶に続き、高円宮承子女王殿下からお言葉を賜り、その後の講演や討議を通じて再犯防止や社会復帰等に関する意見交換が行われました。最終日には勧告案が採択され、閉会式で修了証が授与されました。



2025年度(143回)中央大学卒業式・大学院修士学位授与式を挙行政

2026年3月23日、後楽園キャンパスにて、また25日、多摩キャンパスにて、卒業式・修士学位授与式を挙行政しました。多くの卒業生・修士生が出席し、河合久学長より総代・代表に学位記が授与されました。式典終了後は、各学部・研究科に分かれ、それぞれの会場で学位記授与を行いました。



「やる気応援奨学金」活動報告会を開催

法学部独自の奨学金である「やる気応援奨学金」受給者で海外語学研修に参加した学生が、約1か月間の留学成果や課外活動・研究内容を発表しました。英語・ドイツ語・フランス語・中国語の学修成果に加え、現地での経験や学びを共有し、参加者は熱心に耳を傾け交流を深めました。本奨学金は寄付金によって支えられ、学生が将来像を描き挑戦を重ねる機会を提供しています。寄付により生まれる成長の循環が、次世代の人材育成に着実に寄与しています。



グローバル×アントレプレナーシップ教育を推進

国際センターでは、「本学の国際化の将来構想について一実現可能性を重視した多面的な国際化の展開(Chuo Global-X)」を策定し、グローバル×アントレプレナーシップ教育を推進しています。2025年12月に開催された国際ビジネスコンテスト「TOKYO GLOBAL INNOVATION CHALLENGE」では、本学が都内17大学と連携し、主幹校として大会運営を担いました。本大会には、世界40カ国以上から204チームが応募しました。1日目は学長らの挨拶や有識者によるシンポジウムが行われ、2日目は一次選考を通過した12チームが英語でビジネスアイデアを競い合い、本学学生も活躍しました。

また、アントレ教育の一環として卒業生の起業家や学内の取り組みを紹介する冊子『CHUO ROOTS』を制作しました。学生記者が取材や執筆を担当し、挑戦する人の想いを発信しています。国際センターで無料配布され、ダウンロードも可能です。



2026年度中央大学入学式を挙行政

2026年4月2日、多摩キャンパス第一体育館アリーナにおいて、2026年度入学式を挙行政しました。全学部、全大学院(専門職大学院を除く)の新入生が多数出席しました。同伴者の方々には、多摩キャンパス9号館・8号館において、中継映像をご視聴いただきました。

本学の入学式に合わせ、社会への手紙(新入生バージョン)として、「社会の皆様へ 中央大学は未来をお預かりします」と題して、4月2日付の産経新聞東日本版朝刊および東京メトロ丸ノ内線車内広告(3月30日～4月5日)に、広告を掲載しました。



2026年度以降の新入生全員へ「新入生バッジ」(オープンバッジ)を発行

2026年度以降のすべての新入生(春・秋入学)を対象に、世界標準規格のデジタル証明書「オープンバッジ」を2026年5月上旬より順次発行しています。新入生への一斉発行は日本の大学で初の試みです。

導入の目的は、新入生が同大のアドミッション・ポリシーを満たす資質を備えていることを可視化し、入学直後から自発的な学びや成長を意識する環境を整えることにあります。取得したバッジは生涯蓄積され、SNSへの掲載や就職活動時に自身のスキルや社会的価値を客観的に証明するツールとして活用できます。



新入生バッジ